

以上の要望に対し、山下部長からは、

①については「地元市町や商工会議所、KTR、JR などの北部地域の関係団体と共に、より一層の観光振興を進めたい」

②については「本年度の当初予算では、対前年増を確保し、景気回復に全力を尽くす観点から、過去最高水準の公共事業前倒しによる早期発注に取り組んだ。6月補正予算でも増額計上し前倒し執行に取り組んでいる」

旨の回答を得た。

また、後半の山下部長のスピーチ「明日の京都ビジョン（次期長期ビジョン）」では、ビジョン懇話会「産業・労働部会」の審議内容について説明があり、舞鶴関係部分では「産業振興と環境保全是切っても切り離せない関係である。京都府北部地域においては、鉄道網、道路網等の社会基盤整備が産業、観光、地域振興のいずれの面でも大きな影響を及ぼす。舞鶴港の積極的活用を図るためにも、京都府の南北軸をどのように考えるかは大きな課題である」などの言及があった。

舞鶴の活性化を求めて

まちづくり委員会を設置

10月15日(木)に「第1回まちづくり委員会」開催

10月15日（木）19時30分から当所において「第1回まちづくり委員会」が開催され、正副委員長の選任とまちづくり構想や委員会の進め方等について意見交換を行い、委員会活動がスタートしました。

委員会の設置に際し、これまでに準備会や上西会頭との意見交換会などを重ね、委員の意思疎通を図ってきました。今後は、毎月1回程度の会議を開催し、意見交換や講師を交えての勉強会、情報収集などを行いながら、舞鶴の人、自然、文化を活かしたまちづくりを通して、どのように舞鶴を活性化していくかということについて検討していくこととなります。

当所では平成15年度に舞鶴TMO（まちづくり機関）が舞鶴市から認定を受け設立されて以来、中心市街地の活性化に取り組んできました。しかし、中心市街地活性化法の改正により、TMOの位置づけがなくなり、最近は十分な活動ができなくなっていました。

今回新たに設置されたこの委員会は、TMO活動を引き継ぎ、中心市街地はもちろんのこと、舞鶴市全体の活性化や安心、安全でコンパクトなまちづくりについて検討を重ね、まちづくりに関する意見、提言を行っていくことを目指しています。



まちづくり委員会委員長 塩見 邦夫

鶴が舞うという大変美しい名前のまちが空高く飛べないままに社会も経済も低迷しています。この状態を打破するような明るいアイデアをひとつでも打ち出せば良いと考えております。幸いメンバーとして30～40代の優れた男女会員さんに参加していただくことが出来ました。まちづくりには景観から福祉までいろいろな切り口があります。この委員会は題材を固定せず自由活発に意見交換を楽しみながら進めていきますのでご協力の程お願いいたします。

【まちづくり委員会委員】(敬称略)

委員長	塩見 邦夫	(株)シオミ 代表取締役社長
副委員長	安達 泰造	安達金物店
副委員長	高井 盛作	(株)コザイ印刷所 専務取締役
委員	植本 浩明	上杉教育機器(株) 代表取締役社長
委員	岸田 仁美	(有)カートラスト 取締役
委員	坂根 功一	(株)坂根工務店 代表取締役社長
委員	谷田 恵一	(株)谷田工務店 代表取締役社長
委員	辻 香	(有)辻石材店 取締役
委員	土田 幸正	(有)SCOPE 代表取締役社長
委員	森下 卓男	セイブリビング(株) 設備部長

